



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
75

大船神社の弁慶スギ

日本の巨木第7位



▲樹齢は推定 2,500 年

ひと口メモ

名の由来に次の説がある。^{みなものよしつね おうしゅう}源義経が奥州下向の折、大船山に登山し本尊に祈願した。弁慶はスギの小枝を折って「この祈願むなしからずんば、この枝生い栄えよ」と地に挿した。この枝が弁慶杉となり、本尊の加護で無事平泉へ下ることができたという。

^{べんけい}弁慶スギは、^{おおぶねさん}上矢作町大船山の大船神社境内にある幹囲 10.6 ㍎のスギの巨木。大船神社の前身大船寺は、かつて真言密教の修験者たちによって開かれ、修験道の行場として盛んであった。周囲には多くのスギの大木が点在し、その中でも弁慶スギは特に大きく、スギとしては国内第7位、県内第2位の大きさを誇る。1991（平成3）年の調査によると、樹齢は推定 2,500 年といわれている。名の由来は、奈良東大寺の初代別当良弁の弟子の弁慶が植えたという一説がある。1959（昭和34）年、県の天然記念物に指定されている。



▲ことし3月の暴風で枝の一部が折れた

伊藤喜美

名誉市民の第1号

えな自慢
76
えな人



▲市中央図書館（伊藤文庫）を寄贈

ひと口メモ

（財）伊藤青少年育成奨学会は、岐阜県出身または県内在住大学生への奨学金の支給、県下高校の運動部やスポーツイベントに対する資金援助、国際交流事業への援助などの活動を 2000（平成12）年から続けている。

^{よしみ}伊藤喜美氏は、市名誉市民第1号。（株）バロー創業者で、現相談役名誉会長。1922（大正11）年、大井町出身。（株）主婦の店を創業し、卓越した経営手腕で現在のバローに育て上げた。1992（平成4）年、市国際交流協会会長、1995（平成7）年、恵那商工会議所会頭、現名誉会頭。1999（平成11）年には私財の寄付により（財）伊藤青少年育成奨学会を設立し、奨学金支援や部活動助成など青少年の健全育成に寄与。2007（平成19）年には、読書に対する自身の思いから、10億円の私財を投じて市中央図書館の建設と、蔵書 2 万 3,000 冊を市に寄贈、多くの市民に親しまれている。同年、名誉市民第1号に選ばれた。



▲平成20年に行われた名誉市民推挙式

次号は7月15日号
発行日は7月13日（金）です

広報えな No.177
2012 年（平成24 年）
7 月 1 日発行

発行 恵那市役所／編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎（0573）26-2111／☎25-6150／（IP電話）050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』7月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約 11.0 円（税込み）です。



◀市安心安全メール配信システム
（登録用QRコード）
市WEB版文字放送システム
（閲覧用QRコード）
□問い合わせ 防災情報課（内線317）



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

